

ニュース

【令和3年8月以降の稽古について】

長崎での新型コロナワクチン接種は着実に進んでおり、感染者がかなり減少し、長崎は少し落ち着いてきたかなと思いきや、全国で「第5波」が鮮明になり、大都市に緊急自体が宣言されるなど、感染リスクの高まりをみせていますし、長崎も感染者が増えてきています。このような状況ですので、8月の稽古も引き続きお休みとさせていただきます。稽古再開を楽しみにしている皆様には申し訳ありません。

何度も同じことを言って恐縮ですが、焦らずにもうしばらくお待ち下さい。

会員投稿

吉田さんからの投稿です

コロナ禍のため、無観客でのオリンピックが開催されています。

無観客とはいえ、競技ができていないことは、アスリートの人達にとってはうれしいことだと思います。

開催に至るまで、いろいろと反対や妨害する人などもいましたが、いざ始まってみるとメダルラッシュが続き、なにか活気が戻ってきたような気がします。

個人的に一番感動したのは、競泳の池江璃花子選手ですね。メダルには届きませんでしたでしたが、大病から復帰し、オリンピックに出るというだけでもすごいと思います。

前向きに一生懸命に頑張る姿に勇気をもらった人も多いでしょう

それは、辛い時でも、決して自分に負けないような強い気持ちではないでしょうか。

選手たちの活躍をみて、スポーツをやりたいという子供たちも増えたように思われます。

子供たちも単に見た目のカッコよさだけでなく、選手たちの努力もよく見てほしいと思います。

今回のオリンピックではスケートボードやサーフィン等の新種目が増えましたが、これらをやっている人たちはオリンピック種目になろうがなるまいが、それが好きでずっとやっているといます。

我々も合気道が好きだからやり続けているだけです。

子供たちもなんでもいから、好きなことを夢中になってやり続けてほしいですね。

それが、世の中から評価されようがされまいが関係なく、ひたむきにやり続けたことに価値があると思うからです。ただし、周りに迷惑をかけないようにすることも大事ですね。

勝つことだけを最優先にして、周りに迷惑をかけても平気な集団(選手よりもその周り)もありますね。

特に勝った人を讃えることをせず、逆にいちやもん等をつけたりする姿は非常に見苦しいですね。

いかに人生がかかっているとはいえ、もう少し品位というものが欲しいですね。

勝ちさせずればいいというわけではありません。

子供達に期待したいのは、思いやりや優しさを忘れないでほしいということです。

心身ともにバランスよく成長してもらいたいですね。

編集後記

今年になってから稽古を中止していますが、半年以上が経過しています。

合気道を忘れてしまったのではないかと不安になることもありますが、再開したらすぐに思い出すでしょう。今は我慢の時、耐えるのも稽古のうちでしょう。

皆さんも健康に気をつけて再び会える日を楽しみに待ちましょう。